



熊

山に生息し、時には人間を襲う熊。「ブーさん」に代表されるように、可愛いキャラクターも多いのですが、現実社会の熊は獰猛。今年も既に熊による被害が発生していて、最近も北海道・朱鞠内湖で男性が襲われて死亡する、痛ましい事故があったばかりです。そこで、今号は「熊」を特集します。

■熊の種類は…

熊といっても、種類が実はたくさんあります。日本国内では、本州以南に生息するツキノワグマ、北海道に生息するヒグマが代表的な種類です。海外ではホッキョクグマやアメリカグマなどがあり、ジャイアントパンダも実はクマ科です。また、一般にツキノワグマといっても、世界各地でさらに多くの種類があり、国内のツキノワグマは「ニホンツキノワグマ」です。またヒグマも種類がいくつかあり、北海道に生息するものは「エゾヒグマ」です。かつては世界各地にいましたが、現在イギリスでは絶滅するなど、ロシア以外では減少傾向とされます。

■九州には熊がない

実は九州には熊が生息していません。1957年に大分・宮崎県境の山中で子熊の死体が発見されたのが最後です。大分県では2001年版のレッドデータブックで「野生絶滅」と記しており、宮崎や熊本でも同様の見方をしています。理由は人工林が多いから。全国平均は40%以上ですが、九州では50%以上もあり、しかも針葉樹がほとんど。エサとなるどんぐりが圧倒的に足りません。不足した場合にはあつという間に減ってしまう環境なのです。

■ニホンツキノワグマ

ニホンツキノワグマは私たちにもっとも身近な種類です。主な生息地は本州と四国。前述の通り、九州では絶滅しました。主に夜行性で、果実がある時期は昼間でも活動します。夏場は標高2000m以上の高地でも生息しますが、冬場は低地で冬眠します。食性は雑食ですが、どんぐりや果物に代表されるように植物食傾向です。最近になり、大型の動物を捕獲して食べる事が知られるようになりました。近年では過疎化による里山の放棄や廃棄果樹、残飯などにより、より人間社会に近い地域へ生息域が変わってきています。その影響で、次第に農作物や家畜などが荒らされる機会が増え、人間の被害も増える傾向にあります。秋田県内でも、山菜採りに入った人が食害にあって死亡するなどの被害も出ています。

■人間への食害

古くから熊に人間が襲われるケースは度々発生しており、先日の朱鞠内湖の事件のように、食べられる事もあります。ツキノワグマは偶発的な事故が多いですが、特にヒグマは人間を捕食対象とします。「背中を見せて逃げる物を追う習性」や「捕獲した獲物に対する執着心」があるうえ、一度でも人を食べると味を覚えてしまい、人を狙う傾向が強くなります。捕獲後に持ち帰り、食用として保存するほどです。食害としては有名なのは、1915年に発生した北海道苫前町の「三毛別熊事件」。約1週間にわたり、集落に繰り返し現れては人を襲い、死者7名負傷者3名を出す大惨事となりました。討伐隊として600人が動員され、アイヌ犬10頭以上、鉄砲60丁を用いて、ようやく射殺されました。現在、当時の集落跡には「復元地」が設けられ、後世に語り継がれています。



ニホンツキノワグマ



エゾヒグマ



三毛別熊事件復元地



カウンターアソルト

■エゾヒグマ

北海道に生息する熊といえば「エゾヒグマ」。道内の森林や原野などに幅広く生息しますが、石狩西部や手塩、増毛などでは絶滅の恐れがあるとされています。ヒグマはその大きさがよくクローズアップされますが、平均的な個体でオスが体長1.9~2.3m、体重120~250kg、メスは体長1.6~1.8m、体重150~160kgです。但し、前述の通り、大きな個体も確認されており、2007年にはえりも町で520kgのオス(推定17歳)が見つかっています。食性は雑食ですが、肉食の傾向が強いです。魚類や哺乳類(人を含む)から農作物(トウモロコシやスイカ等)まで幅広く食べますが、最近では牧場の牛などが襲われるケースも増えています。また、ツキノワグマ同様、人間社会に近い場所で暮らす個体も現れ、社会問題になっています。

■野山で熊に出会ったら

よく熊に出会ったら「死んだふりをする」…などと言いますが、もちろん迷信であることは言うまでもありません。死んだ動物でも食料とする熊には全く意味が無いのです。ではどうすれば良いか。まずは「驚いて大声を出すのは禁物」…驚いた熊に襲われるケースがあります。次に「走って逃げない」…これは逃げる物を追いかける習性があるためです。そして、とにかく落ち着き、後ずさりして離れることが大切です。また、撃退スプレー「カウンターアソルト」(写真左下、オレンジブック価格:¥21,829~)も有効です。唐辛子成分が含まれており、至近距離でのスプレーすることにより撃退することが可能です。熊鈴やラジオなどを使うと、逆に襲われる場合があり、100%有効ではありません。山は熊のすみかです。「お邪魔している」気持ちで、注意して入山しましょう。

伸社長が行く!! にかほ市黒川・ダイワ工業株式会社 代表取締役社長 加賀谷尚志 様



加賀谷社長様

佐藤専務様

今回はにかほ市・ダイワ工業株式会社の加賀谷社長にお話を伺いました。また、佐藤専務にも同席いただき、大変和やかな面談となりました。さて、現在のお仕事は、金型部門、自動化機械部門、プラスチック成形部門の三本立て。特にこの数年は半導体関連の受注が順調に推移しているとのこと。それに合わせて、工作機械や設備の新設・更新も進めているそうで、その順調ぶりが覗えます。半導体産業はこれからも発展が見込めるだけに、この先の展開が非常に楽しみです。益々の繁栄をお祈りいたします。

■ダイワ工業株式会社…昭和44年創立、にかほ市黒川字平森58番地の4。各種金型・機械設備設計製造、精密部品・プラスチック成形加工。



機械油もおまかせ下さい

摺動面専用油・潤滑油・切削油etc…

ダイワ工業様では機械油を多数購入頂いております。弊社では切削油や潤滑油(汎用油、摺動面専用油)を始め、グリースやコンプレッサ用オイルなど多数取扱がございます。原油高や物価高のこのご時世…コストの見直しで切替をご検討の皆様、是非一度ご相談ください。詳しくは担当営業まで。

趣味は…加賀谷社長は読書、佐藤専務はお孫さん

ところで、趣味は読書という加賀谷社長。特に小説が多く、次から次への作家の名前が出てきて、よく読まれているのがよく分かりました。その量が月に10冊以上だそうで、中でも、時代小説では葉室麟、坂岡真、刑事小説では堂場瞬一、菅田哲也などの著作を読むことが多いとのこと。最近はこの本の量が増え、置き場所に困っているそう。読書好きで話が合い、話題が尽きないひとときでした。一方、ゴルフでも一緒にする機会が多い佐藤専務の最近の楽しみはお孫さん。まもなく3歳になる双子で、可愛くて仕方ないそうです。

今年は早めに… 熱中症対策しませんか



本紙編集時点で、猛暑日を観測した地点もあり、今年も夏の訪れは早くなりそうです。既に各メーカーから空調機器、ファン付きベストなど、数々の商品がリリースされています。特に屋外や冷房の無い場所で作業されている方には今からの準備をオススメしています。近年は需要期が早まる傾向があり、欲しいときにはすでに品切れという場合も…気になる商品がありましたら、担当営業まで。

ニュース ひろいよみ

都市対抗野球予選に60歳登板 「40代以来」9球の熱投、結果は…

2023.5.10

毎日新聞

第94回都市対抗野球大会(日本野球連盟、毎日新聞社主催)の1次予選・茨城県大会は9日、日立市の日立製作所野球場で1回戦と2回戦各1試合があった。茨城日産は終盤の集中打でAgainBCを逆転し、準々決勝進出。全鹿嶋倶楽部は大宮クラブをコールドで退け、2回戦に勝ち上がった。

大量リードを奪い、迎えた八回裏の守り。1死を取ったところで、全鹿嶋倶楽部の先発・川畑孝弘からマウンドを引き継いだ箱根崇行。本人の記憶では「40代の頃以来、十数年ぶり」という都市対抗予選での登板だ。

「60歳!」。長年大会を見てきた関係者も驚きを隠さない。「過去最高齢での出場では、野手ならまだしも、投手というのがすごい」と目を丸くした。

「実は緊張で脚はガクガクだった」という。1、2球目とボールが続いたが、3球目のストライクで一息ついた。110キロ台前半の直球に90キロ台の変化球を交え、打ち損じを誘う。最初の打者を二ゴロ、2人目を中飛に仕留めて試合を締めくくると、ようやく笑みが浮かんだ。「皆が作ってくれた試合を壊すわけにはいかなかった」

銚田一高、筑波大で投手として活躍。卒業後は岩瀬日大高で長年監督を務め、「打撃投手をしたり、選手と一緒に走ったり体を動かしてきた」。4月末に還暦を迎えた現在は女子硬式野球部を指導しつつ、全鹿嶋倶楽部に選手として登録している。

当初は日曜日に試合が組まれていたが荒天のため平日に変更され、一部の若手が仕事のため出場できない状況に。「都合をつけて試合に駆けつけてくれたメンバー皆で勝とう」。高校の後輩でもある鈴木欽章監督の思いが生んだ登板だった。

9球の熱投を振り返った右腕は、実感を込めて言った。「野球は教えるより、見るより、やる方がやっぱり楽しい」



香川県琴平町 西野金陵

金陵 無濾過純米原酒

原料:あきげしき(香川県産) 精米歩合:70%
日本酒度:酸度:情報無し アルコール:18~19%

今回は香川県琴平町の日本酒「金陵」を紹介しします。琴平といえば「金刀比羅宮」。秋田県を含む全国各地にある金刀比羅宮(神社)の総本宮でお馴染みですね。そのお膝元にあるのが、「金陵」の醸造元である西野金陵です。1789年創業の古い酒蔵(他事業は1658年)で、金刀比羅宮の象頭山から湧き出る井戸水を利用して、季節を問わず、安定した水質・水量なのだから。今回紹介する「純米無濾過生原酒」は、純米らしい米の香りが特徴のお酒です。旨みもしっかりしているので、どんな食材にも合うユーティリティープレイヤーなのですが、原酒だけにアルコール度数が高め(18~19度)ですので、飲みすぎないように注意したいですね。720ml 1,600円(税込)。



編集後記

久しぶりに人流が戻ったゴールデンウィークでしたね。特に5連休前半は天気にも恵まれ、道路は渋滞し、観光地はどこも賑わったようですね。コロナ渦でガラガラなのを見慣れてしまっていたせいで、面食らってしまいました。とはいえ、観光業を営む方にとってはこれからの挽回のチャンス。みんなでもっと観光を楽しんで、盛り上げていきましょう。

美味しいモノ図鑑 きゅうり



夏野菜でお馴染みのきゅうり。これからの季節、キンキンに冷やして食べるのが美味しいですね。その歴史は古く、インド原産で、紀元前10世紀には西アジアに定着したとされます。日本には遣唐使が持ち込まれ、薬用として使われたそうです。江戸時代末期に品種改良が行われ、食用として定着しましたが、本格的に栽培されたのは昭和初期。現在は主に北関東での生産が多く、夏季は東北方でも多く出荷されています。瑞々しさに代表されるように95%は水分であり、100gあたりのカロリーはわずか14kcalです。そんなことから栄養の無い野菜とも言われますが、ミネラルやβカロテンはバランスよく含まれているのもまた特徴です。暑い時期、水分補給の代わりにいかがですか?

三栄機械器具株式会社
〒010-0065 秋田県秋田市茨島2-9-35
TEL 018-862-3105 FAX 018-863-0924
企画・編集 佐々木隆貴

